

西小学校 平成29年度全国学力・学習状況調査の概要

～国語科～

全国の正答率に比べ、A問題B問題ともに低い傾向にある。また、学習指導要領の領域において、A問題では「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において正答率が低い傾向にある。B問題では「書くこと」「読むこと」において平均正答率が低い傾向にある。

～算数科～

全国の正答率に比べ、A問題B問題ともに低い傾向にある。また、学習指導要領の領域において、A問題B問題ともに「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の領域で正答率が低い傾向がある。

～生徒質問紙～

“朝食を毎日摂取している”“決まった時間に寝ている”“決まった時間に起きている”という項目は、全国と比べると若干低い項目もあるが、基本的な生活習慣は比較的定着していると言える。

テレビやビデオの視聴時間やゲームをしている時間は全国と比較して長い傾向にあり、家庭学習については全国と比較して短い傾向にある。

学校生活面では、ほとんどの児童が学校に行くのは楽しいと答えている。

心の育成の面では、ほとんどの児童が“学校の規則を守っている”、また全ての児童が“友達との約束を守っている”“いじめはいけない”と答えている。このことから、規範意識が定着していると考えられる。



～改善策～

- (1) チャレンジテストの有効活用
- (2) 習熟度別学習の効果的な運用
- (3) 家庭学習習慣定着に向けた、課題の効果的な運用